

外国人留学生のための

大学院合格

虎の巻



大学院受験に
役立つ情報満載！
目指せ！合格！！

3. 研究計画書を作成

ほとんどの大学院では、研究計画書の提出を求められます。この内容で合否が決まるといってもいいでしょう。自分の研究したいテーマを自分の言葉で正しく伝えることが大切です。時間をかけて納得いく計画書を準備しましょう。

4. 試験を突破して面接へ

筆記試験をクリアした後、大学院によっては面接が重視されることがあります。自分の研究計画について、きちんと発表できるように準備をしましょう。将来、自分がこの研究を活かして何ができるのか、具体的に表現することで、あなたの未来がみえてきます。

豆知識

大学院から選ぶのではなく、教授で選ぶ

大学院は、自分の研究をさらに磨くところ。自分のテーマを研究している研究室はどの大学院にあるのか、そこで指導している教授はどんな人かなど、調べて教授に手紙を書きましょう。大学院のネームバリュー、立地条件で選ぶのではなく、勉学の環境で選びましょう。

豆知識

大学院生にとって有利な学部は“法学部”

将来、起業して自分の会社を起こそうと考えている人は、法学部を選ぶべきです。企業のトップは、商学部や経済学部を選ぶより法律を知っておくべきだからです。法律を知っていれば、より会社運営に必ず役に立つからです。

株式会社 エスアイケイアイ教育情報部 編著

外国人留学生の方が、「大学院に入学しよう！」と決意したらすぐ準備にとりかかりましょう。準備期間は半年から1年くらいかかります。

また、「いまの状態のまま試験を受けられるのか?」、「自分の学力で大丈夫?」、「希望している研究テーマはどの大学院にあるの?」など、どうすればいいのか知りたい方に、大学院合格までの準備方法をご案内します。

大学院の入試は秋季と春季に実施

秋季入試は に実施され、募集要項は6～7月に出されます。春季入試は2～3月に実施され、募集要項は前年の10～11月に出されます。大学院によって異なりますので、事前に確認して早めに入手しましょう。そうすれば、余裕を持って入試の準備にあたれます。

出願資格は、大卒以外でも認められる

- すでに大学を卒業した人、または卒業見込みのある人。社会人で大学院入学を目指す人などは、学力など一定の基準をクリアすれば受験は可能です。
- 外国で学校教育を16年間の過程を修了した人。これは日本の小学校から大学までを合計した期間です。

豆 知 識

国会図書館に行こう!

自分の目指す大学院のことを調べる方法の一つとして国会図書館を利用するという手があります。カードを作れば、頻繁に利用でき、知りたい大学院の詳しい情報がチェックできます。教授宛に手紙を書いたり、パソコンも利用できるのが最適な空間です。

- 文部科学大臣の指定した人。これは、「大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者」となっています。

大学院入学を目指す4つのポイント

1. 事前準備

- 大学卒業時に制作した卒業論文を日本語に翻訳しましょう。自分の学びたい、あるいは研究したいテーマを日本の大学院教授に理解してもらうためには、正しい日本語で理解してもらわなくてはなりません。そのためには、日本語の勉強も必須です。
- インターネットなどで情報収集をしましょう。自分の研究したい学部があるか、どんな教授が居るかを事前に知っておくことが大切です。また、すでに行きたい大学院で学んでいる先輩などに話を聞くのも手です。
- 行きたい大学院の過去問題を入手しましょう。志望する大学院の出題傾向がわかります。できるだけさかのぼって入手できれば、対策がとれます。これで一步近づく大切な方法です。
- 大学院進学には、外国語、特に英語が重要です。日本語のレベルアップはもちろんですがTOEFL、TOEICなどで高得点を取らなければなりません。大学院受験の前にまず語学です。地道に勉強しましょう。

2. 研究室へのアプローチ

自分の志望する大学院の研究室が自分に相応しいのか、また、指導教授はどんなひとなのか。事前に知っておくことが大事。しかし、大学院教授は日々忙しい方が多いので、自分の研究したいテーマを手紙に書いて送ることがベストです。